

ノルウェージャンクルーズラインが3年ぶりにアジアクルーズ再開

- ノルウェージャン ジュエルが東京発を皮切りに6か月間の拡大版アジアシーズン開始 -
 - フィリピン、インドネシア、台湾の6港に初寄港
 - 初のフィリピンのマニラと韓国のソウル発クルーズも -



2023年10月23日(東京) - 56年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきたノルウェージャンクルーズライン(NCL)が19日、ノルウェージャン ジュエルの東京発クルーズで待望のアジア海域運航再開を果たし、今後6か月間にわたる拡大版アジアクルーズのシーズンがスタートしました。



3年ぶりの[アジアクルーズ再開](#)を果たした NCL の第 1 号となるノルウェー جان ジュエルは、今後、没入感満載、寄港地滞在重視の 16 クルーズを実施。バンコク(タイ/レムチャバン)、クアラルンプール(マレーシア/ポートクラン)、シンガポール、台北(台湾/基隆)、バリ(インドネシア/ブノア)、東京、横浜、そして NCL 史上初の韓国のソウル(仁川)を含む 9 港を出航地に 11 か国を訪れます。

クルーズ日数は 10 泊から 14 泊で、各クルーズの終日航海日は平均で 2 日以下。シンガポールやホーチミン市(ベトナム)などの人気観光地に最長 13.5 時間滞在し、タイのプーケット、大阪、インドネシアのバリ(ベノア)といった夜の賑わいが楽しめる寄港地では 1 泊するなど、充実度の高い日程が組まれています。また、フィリピンのマニラ、ボラカイ、パラワン、サロマグ、インドネシアのビンタン島、台湾の花蓮にはブランドとしての初寄港となります。

ノルウェー جانクルーズ社長デビッド・J・ヘレラは「ノルウェー جان ジュエルの東京入港は私共にとってアジア海域復帰への重要な一歩となりました。素晴らしい休暇体験や世界を発見する数限りない機会を誇りをもってご提供している私共としては、ようやくアジアに戻ってくることができたことは大きな喜びです。興味深い歴史、食、文化のつぼであるこの地域で寄港地体験に重点を置いた様々なクルーズをお届けいたします。私共にとって重要な市場であるアジアで今後も長期的展望の下にクルーズを実施していきます」と語ります。

販売市場としてもデスティネーションとしても重要なアジアへのしっかりとしたコミットメントとして、NCL は 2024/25 シーズンに過去最多の 4 隻を導入。ノルウェー جان ジュエルに加えて、ノルウェー ジャン スピリット、ノルウェー ジャン サン、ノルウェー ジャン スカイが日本、韓国、タイ、台湾、ベトナム、フィリピン、マレーシアを隈なく巡り、他の追随を許さない多彩なアイテナリーが提供されます。

ノルウェー ジャン サンがオーストラリア、ニュージーランド、南太平洋、そしてアジアにデビュー

ノルウェー ジャン サンは 2024 年 10 月から 2025 年 4 月まで、13 の異国情緒あふれるクルーズを含む初の [6 か月間アジア太平洋シーズン](#)を展開。うち 2025 年 3 月実施、オーストラリアの[メルボルン発 3 クルーズ](#)とニュージーランドの[オークランド発インドネシアのバリまでの 1 クルーズ](#)はブランド史上初のもの。出航地にはオーストラリアのメルボルンとシドニー、ニュージーランドのオークランド、ホノルル、仏領ポリネシアのパペーテが含まれ、いずれも一生に一度は行きたい場所リストにふさわしい壮大な景色に魅了されるクルーズ日程が組まれています。



ノルウェー جان スピリットがオーストラリア、ニュージーランド、南太平洋、アジア海域に復帰
大成功を収めた初就航の後、ノルウェー ジャン スピリットが 2023 年 12 月から 2024 年 3 月まで、2 度目の連続シーズンとしてオーストラリアとニュージーランドの海域に戻り、人気のシドニーとオークランドをつなぐクルーズを実施。その後、南太平洋でのクルーズ日程を経て 2024 年 9 月から 2025 年 4 月までは 8 か月間のアジアシーズンに。マニラ、シンガポール、台北、東京、ソウルを拠点に 14 クルーズを実施します。

ノルウェー ジャン スカイはアジア、アジア太平洋、アフリカでエキゾチッククルーズ

2024 年 12 月から 2025 年 3 月の 4 か月にわたるアジアシーズンで、フィリピンのマニラ、シンガポール、台湾の台北、東京、モーリシャスのポートルイスから出航の 7 クルーズを実施します。クルーズ期間は 10 泊から 17 泊。フィリピンや日本など、より掘り下げた探訪が求められるデスティネーションに存分に浸りきれぬ旅程が企画されています。

東京、台北、シンガポールを訪れるクルーズでは、NCL のクルーズツアーによる 3 泊 4 日の地上ツアーを組み合わせてさらに掘り下げた寄港地探訪が可能。

NCL アジアクルーズの全リストは[こちら](#)から。

ノルウェー ジャンクルーズラインの受賞歴に輝く 19 隻の客船と世界各地のクルーズについての詳細および予約は <https://www.ncl.com/jp/ja/>

ノルウェー ジャンクルーズラインについて

ノルウェー ジャンクルーズラインはその 56 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 19 隻の保有船が、ノルウェー ジャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、400 もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェー ジャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェー ジャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は@NorwegianCruiseLine。Twitter は@CruiseNorwegian。



NCL
NORWEGIAN
CRUISE LINE®



画像提供はノルウェージャンクルーズライン

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア